

# Est

## Chapter 1

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

1  
מֵהַיַּם הַיַּבֵּשׁ הַמִּלְכָּה אַחַשְׁוֵרֹשׁ הוּא אַחַשְׁוֵרֹשׁ בְּיָמָיו וַיְהִי  
インドから 治めていた-王 アハシュエロスで 彼こそ アハシュエロスの その-日々に そして-あった  
H1912 H0325 H1931 H0325 H3117 H1961  
וְעַד- כּוֹשׁ שְׁבַע וְעֶשְׂרִים וּמֵאָה מְדִינָה:  
州を と-百の 二十 百 クシュまで そして-まで  
H4082 H3967 H6242 H7651 H5704

アハシュエロスすなわちインドからエチオピアまで百二十七州を治めたアハシュエロスの世、

2  
אֲשֶׁר מְלֻכּוֹתָיו כִּסֵּא עַל אַחַשְׁוֵרֹשׁ הַמִּלְכָּה וְכִשְׁבַּת הָהֵם בְּיָמָיו  
それは 王国の 王座に その アハシュエロスが 王 座していた-時 それらの その-日々に  
H4438 H3678 H0325 H4428 H3427 H1992 H3117  
בְּשׁוּשַׁן הַבִּירָה:  
シュシャンの 城にあった  
H7800 H1002

アハシュエロス王が首都スサで、その国の位に座していたころ、

3  
וְהָיָה וַעֲבָדָיו שָׂרֵי לְכָל- מִשְׁתֵּה עָשָׂה לְמַלְכוֹ שְׁלוֹשׁ בְּשַׁנַּת  
軍勢は 家臣たちのために 高官たちと すべての 宴会を 催した 治世の 三 その-三年目に  
H2428 H5650 H8269 H3605 H4960 H7969 H8141  
וּמְדִיָּה פָּרְסַי וּמְדִיָּה פָּרְסַי וּמְדִיָּה פָּרְסַי  
メディアの ペルシアと  
H4074 H6539 H6579  
וּשְׂרָי וּשְׂרָי וּשְׂרָי  
そして-長官たちが 貴族たちと  
H8269 H6579 H4074  
לְפָנָיו הַמְּדִינֹת וּשְׂרָי  
その-前に 諸州の  
H6440 H4082 H8269

その治世の第三年に、彼はその大臣および侍臣たちのために酒宴を設けた。ペルシャとメディアの將軍および貴族ならびに諸州の大臣たちがその前にいた。

4  
רַבִּים יָמִים נְדוּלְתוֹ הַתְּפָאֶרֶת יָקָר וְאֶת- מְלֻכּוֹתוֹ כְּבוֹד עֶשְׂרֵי אֶת- בְּהִרְאֹתוֹ  
多くの 日々 偉大さの 輝きの 貴さを そして 王国の 栄光の 富を (を) 見せた-時  
H3117 H1420 H8597 H3366 H0853 H4438 H3519 H6239 H0853 H7200  
שְׁמוֹנִים וּמֵאָה יוֹם:  
八十 と-百の 日であった  
H8084 H3967 H3117

その時、王はその盛んな国の富と、その王威の輝きと、はなやかさを示して多くの日を重ね、百八十日に及んだ。

5  
הַנְּמֻצָּאִים הָעָם לְכָל- הַמִּלְכָּה עָשָׂה הָאֵלֶּה הַיָּמִים וּבְמָלְאוֹת  
いた-者たちに 民のために すべての 王は 催した これらの 日々が そして-満ちた-とき  
H4672 H3605 H4428 H0428 H3117 H4390  
בְּחֻצְרֵי יָמִים שְׁבַעַת מִשְׁתֵּה קָטָן וְעַד- לְמַגְדוֹל הַבִּירָה בְּשׁוּשַׁן  
庭で 日間 七 宴会を 小さい-者まで そして-まで 大きい-者から 城にいる シュシャンの  
H3117 H7651 H4960 H5704 H1002 H7800  
הַמִּלְכָּה: בֵּיתֵן גִּנָּת  
王の 離宮の 園の  
H4428 H1055 H1594

これらの日が終わった時、王は王の宮殿の園の庭で、首都スサにいる大小のすべての民のために七日の間、酒宴を設けた。

6 וְחִוּר כִּרְפָס וּתְכֵלֶת אֲחוּזָה בְּתֵבֵלִי בֵּין וְאֶרְנָמָן עַל-גְּלִילֵי

白い 綿の-布と そして-青い-布が 掛けられた 紐で 亜麻の そして-紫の 其の 輪に

H2353 H3768 H8504 H0270 H0948 H0713

כֶּסֶף וְעַמּוּדַי שֵׁשׁ וּמַטְוֹת זָהָב וְכֶסֶף עַל רְצֵפַת בְּהַטּ וְשֵׁשׁ

銀の そして-柱に 大理石の 寝台は 金と 銀の 其の 床の-上に 斑岩と 大理石と

H3701 H5982 H4296 H2091 H3701 H0923

וְהָרַר וְסַחֲרָת׃

そして-真珠と 黒-大理石の

H1858 H5508

そこには白綿布の垂幕と青色のとばりとがあって、紫色の細布のひもで銀の輪および大理石の柱につながれていた。また長いすは金銀で作られ、石膏と大理石と真珠貝および宝石の切りはめ細工の床の上に置かれていた。

7 וְהַשְּׁקוֹת בְּכֵלָי זָהָב וְכֵלִים מְכֵלִים שׁוֹנִים וַיִּין מַלְכוּת רַב

そして-飲み物は 金の 器で 器は 器ごとに 異なり そして-酒は 王室の 豊かで

H8248 H2091 H3627 H3627 H3627 H3196 H4438

כִּד תְּמַלֵּךְ׃

王の 手の-ままに

H4428 H3027

酒は金の杯で賜わり、その杯はそれぞれ違ったもので、王の大きな度量にふさわしく、王の用いる酒を惜しみなく賜わった。

8 וְהַשְּׁתִּיָּה כְּדַת אֵין אֲנִס וְכִי וְכֵן יָסַד תְּמַלֵּךְ עַל

そして-飲むことは 定めに-従い なく 強制は なぜなら このように 命じた 王が 其の

H8360 H1881 H0369 H0597 H0376 H3245 H4428

כָּל-רַב בֵּיתוֹ לַעֲשׂוֹת כְּרָצוֹן אִישׁ-אִישׁ׃

すべての 役人に 宮殿の するように 望みの-ままに 各-人の 一人ひとりの

H3605 H0376 H7522 H0376 H0376

その飲むことは法にかなない、だれもしられることはなかった。これは王が人々におのおの自分の好むようにさせよと宮廷のすべての役人に命じておいたからである。

9 גַּם וּשְׁתֵּי הַמְּלָכָה עָשָׂתָה מִשְׁתָּה וְנָשִׁים בֵּית הַמְּלָכוֹת אֲשֶׁר לְמַלְךְ

また ワシュティ 王妃も 催した 宴会を 女たちのための 王宮の 王室で 王の 其の

H1571 H2060 H4436 H4960 H0802 H4438 H4428

ס אַחְשֻׁרוֹשׁ׃

[区切り] アハシュエロスの

H0325

王妃ワンテもまたアハシュエロス王に属する王宮の内て女たちのために酒宴を設けた。

10 בְּיוֹם הַשְּׁבִיעִי כָּטוֹב לֵב-תְּמַלֵּךְ בֵּין אָמַר לְמַחוּמָן בִּזְתָּא

その-日に 第七の 良くなった-時 心が 王の 酒で 言った メフマンと ビゼタと

H3117 H7637 H0559 H3196 H4428 H4104 H0968

חַרְבוּנָא בִּגְתָא וְאַבְגָּתָא זֵתָר וְכַרְכָּס שְׁבַעַת הַסְּרִיסִים הַמְּשָׁרְתִים אֶת-

ハルボナと ビグタと アバグタと ゼタルと カルカスに 七人の 宦官たちに 仕えていた (を)

H2726 H0903 H0005 H2242 H3752 H7651 H5631 H8334 H0854

פְּנֵי תְּמַלֵּךְ אַחְשֻׁרוֹשׁ׃

王の 前で アハシュエロスの

H4428 H6440 H0325

七日目にアハシュエロス王は酒のために心が楽しくなり、王の前に仕える七人の侍従メホマン、ビズタ、ハルボナ、ビグタ、アバグタ、ゼタルおよびカルカスに命じて、

11  
 לְהַרְאוֹת לְהַבִּיאַת אֶת-וַשְׁתִּי הַמְּלִכָה לְפָנָי הַמֶּלֶךְ בְּבִתָּר מַלְכוּת לֹא  
 見せるために 王室の 冠を-かぶせて 王の 前に 王妃を ワシュティ (を) 連れて-来るよう  
[H7200](#) [H4438](#) [H3804](#) [H4428](#) [H6440](#) [H4436](#) [H2060](#) [H0853](#) [H0935](#)

הָיָא הָעַמִּים וְהַשָּׂרִים אֶת-יְפוּהָ כִּי-טוֹבַת מְרֵאָה הִיא:  
 彼女であった 容姿の 美しい なぜなら その-美しさを (を) 高官たちに 民たちと  
[H1931](#) [H4758](#) [H3308](#) [H0853](#) [H8269](#)

王妃ワシテに王妃の冠をかぶらせて王の前にこさせよと言った。これは彼女が美しかったので、その美しさを民らと大臣たちに見せるためであった。

12  
 וַתִּמְאָן וַתִּמְלֶכָה וַשְׁתִּי לָבוֹא לְבָרַךְ הַמֶּלֶךְ אֲשֶׁר בִּידָּי וְהָיָא  
 手を-通して それは 王の 命令に-より 来ることを ワシュティは 王妃 しかし-拒んだ  
[H3027](#) [H4428](#) [H1697](#) [H0935](#) [H2060](#) [H4436](#) [H3985](#)

וַיִּקְצֹף וַיִּבְרָח הַמֶּלֶךְ מֵאֵד הַסְּרִיסִים וְנִחְמְתוּ בְּעֵרָה בּוֹ:  
 非常に 王は そして-怒った 宦官たちの 王は 燃えた そして-怒りが 彼の-内に  
[H2534](#) [H3966](#) [H4428](#) [H7107](#) [H5631](#)

ところが、王妃ワシテは侍従が伝えた王の命令に従って来ることを拒んだので、王は大いに憤り、その怒りが彼の内に燃えた。

13  
 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ לְחַכְמָיִם יָדְעִי הָעֵתִים כִּי-כֵן דְּבַר  
 王は そして-言った 知恵ある-者たちに 知る-者たち 時を なぜなら どのように 言葉は  
[H4428](#) [H0559](#) [H2450](#) [H3045](#) [H6256](#) [H1697](#)

וְהָיָא לְפָנָי הַמֶּלֶךְ וְכָל-יָדְעִי דָת וְדִין:  
 すべての 前で 王の 知る-者たちに 法と 裁きを  
[H3605](#) [H6440](#) [H4428](#) [H3045](#) [H1881](#) [H1779](#)

そこで王は時を知っている知者に言った、王はすべて法律と審判に通じている者に相談するのを常とした。

14  
 וְהִקְרַב אֵלָיו כַּרְשֵׁנָא שֶׁטָר אַדְמָתָא תַרְשִׁישׁ מֶרְס וּמַרְסָנָא  
 彼に そして-近い-者 カルシェナと シェタルと アドマタと タルシシュと メレスと マルセナと  
[H0413](#) [H7138](#) [H3771](#) [H8369](#) [H0133](#) [H8659](#) [H4825](#) [H4826](#)

מְמוּכָן וְשִׁבְעַת וְשָׂרֵי פָרְס וּמְדִיָּא רְאִי פָּנָי הַמֶּלֶךְ הַיִּשְׁבִּים  
 大臣たち 七人の メムカン ペルシアと メディアの 見る-者たち 王の 座していた  
[H8269](#) [H7651](#) [H4462](#) [H6539](#) [H4074](#) [H200](#) [H6440](#) [H4428](#) [H3427](#)

בְּמַלְכוּת רְאִשְׁנָה  
 王国の-中で 第一に  
[H4438](#) [H7223](#)

時に王の次にいた人々はペルシャおよびメディアの七人の大臣カルシナ、セタル、アダマタ、タルシシ、メレス、マルセナ、メムカンであった。彼らは皆王の顔を見る者で、国の首位に座する人々であった

15  
 כְּדָת מָה-לְעֲשׂוֹת בְּמַלְכָה וַשְׁתִּי וְעַל אֲשֶׁר לֹא-כְדָת  
 法に-従い 何を なすべきか 王妃 王に 彼女が 従わなかった  
[H4100](#) [H1881](#) [H4436](#) [H2060](#) [H3808](#)

וְעֲשָׂתָהּ אֶת-מֵאֲמַר הַמֶּלֶךְ אַחַשְׁוֵרוּשׁ בִּידָּי הַסְּרִיסִים:  
 行わなかった (を) 命令を 王の アハシュエロスの 手を-通した 宦官たちの  
[H3982](#) [H0853](#) [H4428](#) [H3027](#) [H0325](#) [H5631](#)

「王妃ワシテは、アハシュエロス王が侍従をもって伝えた命令を行わないゆえ、法律に従って彼女にどうしたらよかるうか」。



הִיא	רַבָּה	כִּי	מַלְכוּתוֹ	בְּכֹל-	יַעֲשֶׂה	אֲשֶׁר-	הַמֶּלֶךְ	פְּתָנָם	וְנִשְׁמַע	20
それは	広い	なぜなら	王国で	すべての	なす	それを	王の	布告が	そして-聞かれる	
<a href="#">H1931</a>			<a href="#">H4438</a>	<a href="#">H3605</a>			<a href="#">H4428</a>	<a href="#">H6599</a>	<a href="#">H8085</a>	
קָטָן:	וְעַד-	לְמַגְדוֹל	לְבָעֵלֵינוּ	יִקַּר	יִתְּנוּ	הַנְּשִׁים	וְכֹל-			
小さい-者まで	そして-まで	大きい-者から	夫たちに	敬意を	与える	女たちは	そして-すべての			
	<a href="#">H5704</a>		<a href="#">H1167</a>	<a href="#">H3366</a>	<a href="#">H5414</a>	<a href="#">H0802</a>	<a href="#">H3605</a>			

王の下される詔がこの大きな国にあまねく告げ示されるとき、妻たる者はことごとく、その夫を高下の別なく共に敬うようになるでしょう」。

הַמֶּלֶךְ	וַיַּעַשׂ	וְהַשָּׂרִים	הַמֶּלֶךְ	בְּעֵינָיו	הַדְּבָר	וַיִּטַּב	21
王は	そして-行った	そして-高官たちの	王の	目に	その-言葉は	そして-良かった	
<a href="#">H4428</a>		<a href="#">H8269</a>	<a href="#">H4428</a>		<a href="#">H1697</a>	<a href="#">H3190</a>	
					מִמוֹכָן:	דְּבָר	
					ムムカンの	言葉の-通りに	
					<a href="#">H4462</a>	<a href="#">H1697</a>	

王と大臣たちはこの言葉をよしとしたので、王はムムカンの言葉のとおりに行った。

וּמְדִינָה	מְדִינָה	אֶל-	הַמֶּלֶךְ	מְדִינוֹת	כָּל-	אֶל-	סְפָרִים	וַיִּשְׁלַח	22
また-州ごとに	州	その	王の	州に	すべての	その	書簡を	そして-送った	
<a href="#">H4082</a>	<a href="#">H4082</a>	<a href="#">H0413</a>	<a href="#">H4428</a>	<a href="#">H4082</a>	<a href="#">H3605</a>	<a href="#">H0413</a>		<a href="#">H7971</a>	
אִישׁ	כָּל-	לְהֵיוֹת	כְּלָשׁוֹנוֹ	וְעַם	עַם	וְאֶל-	כְּכַתְּבָהּ		
男が	すべての	すべての	その-言語で	また-民ごとに	民	そして	その-文字で		
<a href="#">H0376</a>	<a href="#">H3605</a>	<a href="#">H1961</a>	<a href="#">H3956</a>			<a href="#">H0413</a>	<a href="#">H3791</a>		
	פ	עַמוֹ:	כְּלָשׁוֹן	וּמְדַבֵּר	כְּבֵיתוֹ	שָׂרָר			
	[段落]	自分の-民の	言語で	そして-語るように	その-家で	主人で-あるように			
			<a href="#">H3956</a>	<a href="#">H1696</a>		<a href="#">H8323</a>			

王は王の諸州にあまねく書を送り、各州にはその文字にしたがい、各民族にはその言語にしたがって書き送り、すべて男子たる者はその家の主となるべきこと、また自分の民の言語を用いて語るべきことをさとした。